

## 第2号議案

### 令和5年度事業計画（案）について

（以下、下線部は R5 新規事業）

#### 1. 定時総会

日程：令和5年6月5日（月）

場所：レンブラントホテル大分 2階「二豊の間」

内容：（講演会）

演題：なぜコオロギなのか～サーキュラーフードで解決したいこと～

講師：株式会社グリラス 代表取締役 CEO 兼 CTO 渡邊 崇人 様

#### 2. マッチング事業

##### ① コーディネーターによるマッチング

おおいた食品産業企業会コーディネーター 西川 学

〈活動内容〉

- ・ニーズに応じた委託加工企業の調査・紹介
- ・加工用原材料を農林水産部等との連携による調査・紹介
- ・その他輸出等、会員企業の困りごとに対する相談対応

#### 3. 商品開発

##### ① 食品オープンラボの運営

各種加工食品の製造、殺菌、充填から試作品の簡易評価・分析まで、一連の製品開発を支援

## 4. 人材育成への対応

### ① 食品加工リーダー研修会

商品開発、品質管理、生産管理、コーチングなど工場長を務められる人材の育成を推進

昨今の物価高騰に対する価格転嫁をスムーズに行うため、食品産業に向けた製造現場のデジタイゼーション（アナログ・物理データのデジタルデータ化）を図る講座を新たに実施

加えてマーケティング、コーチングなど3回の講座をオープン形式で会員企業向けに開催

実施回数：7月～翌3月まで全10回程度

対 象 者：会員企業から推薦を受けた社員

### ② 商品開発人材育成研修

リーダー研修会で基礎を学んだテーマのうち、商品開発にスポットを当て、一連の流れについて実際に商品開発を行う実践形式で体験することで会員企業の人材育成を支援

実施回数：6月～翌3月まで全5回程度

対 象 者：会員企業から推薦を受けた社員20名

テ ー マ：第1回「事業デザイン、商品開発プロセス、マーケティング」

第2回「商品化実現に必要な品質・衛生管理」

第3回「シェフによる用途・利用シーン提案のための

メニューレシピ開発とデモンストレーション」

第4回「商品企画提案書・仕様書（FCPシート）の作成指導」

第5回「展示商談会結果のフォローによる商品改良ポイントの見える化」

## 5. 販路開拓

### ① HACCP実践ワークショップ

県外へ販路を求める県内食品加工企業が大手小売業者との販路維持・開拓を図るため、自社商品の製造工程に応じたHACCPに関する書類（オリジナルプラン）の作成を支援する。

併せて、過去にワークショップを受講しプランを策定した事業者のうち、希望者を対象に実際の加工場を訪問し実地検査を実施。プラン実行状況を確認し、合格事業者に独自のHACCP適合証明書を付与。

実施回数：6月から実施、ワークショップは3回、実地検査は4回

実施内容：自社製品のプラン策定研修、プラン添削支援

プラン策定済み企業への実地検査、適合証明書付与  
（8社程度）

### ② 食品安全の展望予測セミナー

次世代型HACCPと言われるHARPCの概要説明をはじめとし、  
HACCP対応後に想定される必要事項の整理と訴求力につながる品質  
戦略のセミナーを開催する。

実施回数：1回

### ③ 展示会、商談会への出展

(公財) 大分県産業創造機構と共催で県内企業の出展を支援。  
昨年に引き続き展示会出展実践セミナー・商品ブラッシュアップ支援する  
「中小企業販路拡大ステップアップ応援事業」を実施。

- ・ フードエキスポ九州 (R5. 10) への準備、出展
- ・ 通販展示商談会 (R5. 10) への準備、出展
- ・ 沖縄大交易会 (R5. 11) への支援
- ・ フードスタイル九州 (R5. 11) への準備、出展
- ・ その他の展示会へも産業創造機構と協議の上、出展

### ④ デジタルマーケティング販路開拓支援事業

#### ～おおいた食のたすきプロジェクトの推進～

令和 2 年度運用を開始した企業会ホームページ (おおいた食のたすき) の  
コンテンツを充実させ、県内食品企業と県外企業とのマッチングをさらに  
促進

- ・ 会員企業取材記事の充実 (年間 12 社程度)
- ・ マッチング事例の紹介
- ・ Web プロモーション  
→ 令和 2 年度～令和 3 年度はサイトの認知向上のため、  
令和 4 年度は展示会出展の効果を高めるために PR を行った。  
今年度はサイトの改修を PR し更なるアクセスにつなげる。
- ・ マッチングの自動化
- ・ メルマガ など

令和5年度予算(案)

収入の部

(単位:千円)

科 目	5年度 当初予算額 (A)	4年度 当初予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
会 費	2,130	2,130	0	R4 R5 会員 95社 → 97社 協力会員 23社 → 23社 計 118社 → 121社 ※会員のうち2社は4年度中に支払済のため 5年度予算からは減じて計上
負 担 金	25,501	22,087	3,414	新規事業開始による増
繰 越 金	3,710	8,546	▲ 4,836	
収 入 計	31,341	32,763	▲ 1,422	

支出の部

(単位:千円)

科 目	5年度 当初予算額 (A)	4年度 当初予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
マッチング事業費	4,268	4,152	116	燃料費高騰を受け旅費単価の改定による増
商品開発事業費	2,000	2,500	▲ 500	
うち、オープンラボ運営費	2,000	2,500	▲ 500	過去2年間使用実績のない修繕費の減による
人材育成事業費	5,766	1,100	4,666	
うち、食品加工リーダー研修会費	1,036	1,100	▲ 64	
うち、商品開発人材研修会費	4,730	0	4,730	新規事業による皆増
販路開拓事業費	15,798	21,205	▲ 5,407	
うち、HACCP支援費	2,805	2,970	▲ 165	事業内容見直しによる減
うち、ハラル認証取得支援費	0	754	▲ 754	事業廃止による皆減
うち、おおいた食のたすきプロジェクト事業費	6,257	6,325	▲ 68	事業内容見直しによる減
うち、フードエキスポ九州出展事業費	450	0	450	全て産業創造機構と共催
うち、フードスタイル九州出展事業費	1,946	2,725	▲ 779	新たにフードエキスポ九州に出展
うち、通販展示商談会出展事業費	321	800	▲ 479	アフターコロナでの販路回復に向け、引き続きターゲット別に複数の展示会へ出展支援
うち、沖縄大交易会出展事業費	443	500	▲ 57	フードスタイル関西・スーパーマーケットトレードショーについては、出展に向けて産業創造機構と調整中のため、その他展示会出展事業費として計上
うち、その他展示会出展事業費	2,174	5,575	▲ 3,401	
うち、中小企業販路拡大ステップアップ応援事業費	1,402	1,556	▲ 154	セミナー講師の見直しによる減 産業創造機構と共催
事務局経費	1,800	1,800	0	
予備費	1,709	2,006	▲ 297	
支 出 計	31,341	32,763	▲ 1,422	